



2018年1月のロータリーレートは1ドル=114円

20周年記念祝典 2018年4月21日(土)



2017-18年度 RI 会長テーマ
「ロータリー：変化をもたらす」
「ROTARY : MAKING A DIFFERENCE」
イアンH. S. ライズリー
Sandringhamロータリークラブ所属
オーストラリア（ビクトリア州）

Ian Riseley

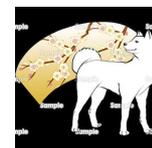


下口幸雄
2017-18年度2610地区ガバナー
クラブのカラーを出そう

謹賀新年

pixta.jp - 8052188

平成三十年 元旦



例会便り

第900回

2018.1.11 (木) 18:30

金沢8RC 新年合同例会

ホテル日航金沢 4階「鶴の間」



点 鐘

金沢北RC会長
佐賀 務 氏
国歌斉唱「君が代」
ロータリーソング
「奉仕の理想」



ホスト・クラブ会長挨拶
金沢北RC会長 佐賀 務 氏
例会終了 点 鐘

《 懇 親 会 》

ご 祝 儀 『君が代 松竹梅』 三茶屋街芸妓連

乾 杯 2610地区石川第一分区A
ガバナー補佐 高桑幸一 氏

閉宴挨拶 次期ホスト・クラブ
金沢香林坊RC会長エレクト 諸江 隆 氏

ロータリーソング 「手に手つないで」





《 懇親会 終了 》

国際ロータリー第2840地区 高崎RCの変更事項 お知らせ

例会場名称 ホテルグランビュウ高崎 (旧 高崎ビューホテル)

事務局 群馬県高崎市柳川町70 ホテルグランビュウ高崎 内 (旧 高崎ビューホテル)

2017-18年度 会長 関口 俊介 幹事 桂川 修一

20周年に向けて会長はじめ会員の皆さまの頑張りに感謝します。 村田祐一

これまでの20年とこれからのわがクラブの将来構想に向けた記念行事にするため提言します。これまではモンゴル支援、ネパール支援、ラオス支援。北山会員はチャリティーコンサートを行い。その売り上げの多くを寄付され、地雷で足を無くした方々に義足を送り、盲導犬の養成に寄附など等。青少年育成の為空き缶拾いと講演、韓国との青少年交流や様々なマッチングプラン、ロータリーからの間接喫煙をなくす等の活動をしてきました。これからは何をするのでしょうか？これを機会に皆様と考えていけたらと思います。

改めて、ロータリーって何だろう??

一つは奉仕団体！国際奉仕、社会奉仕、職業奉仕などを通じて人類に奉仕し世界をより良くする人材を育てる団体。と私は理解してこれまで活動してきました。

国際奉仕では日韓関係が政府同士の間でギクシャクしているが、こんな時こそロータリーの出番で民間外交を発展していかなくてはと思っています。

その意味で我がRCの20周年にあたり日韓の民間外交に陰日向なく一貫して多大な貢献をしていらっしゃる朴先生に何らかの顕彰をしていただきたいとの石丸先生のご提案に賛同します。石丸先生と共にロータリアンの鏡のような方です。

顕彰にあたり他クラブとのバランス云々の話がでましたが、どんなバランスでしょうか？顕彰を考えていないので疑問に思っています。クラブとして行わないなら有志での顕彰も考えています。

二つ目は講演会に関して：桜井氏の「今、何をなすか」の内容はロータリー運動の奉仕、

友好活動にふさわしい話題を希望します。医師として個人的にはエイズ薬害時の彼女の話には賛同する事が多かった。安全な医療を提供するためには今何をなすか等のお話が聞けたら幸いです。

あらためてRCは政治や経済団体ではなく、奉仕と友好を通じて世界平和を進める団体だということを再確認して今後も活動して欲しいと思い筆を執りました。

パストガバナーからの手紙 330回2018.1.18 炭谷 亮一

The Anatomy of Soseki 第二章 明治のガンコ者「夏目漱石」の真実

明治以降、最高の国民作家の呼び声高い「夏目漱石」、現代でも売れに売れている文庫本の王者、小学生から老人まで巾広い読者層を持つ大衆人気作家、権威におもねない反骨作家、「紫式部」と比肩しうる日本文学史上に燦然と輝く二大文豪の一人、以上が「漱石」を表現するのにふさわしい言葉と考えている。

ただ作家活動は10年余りと短く作品数は少なく、執筆活動のジャンルも広くなく、わが郷土の文豪「泉鏡花」そして早逝の天才「三島由紀夫」等には劣る点は少なからずあるが、漱石の作品すべてが珠玉の名作と言って駄作はほとんどない。この稿では「反骨作家」という面に焦点を当てることにする。

イギリス留学から帰国した漱石は、東大や旧制第1高等学校で英文学の教鞭をとっていたが内心は教師がいやでいやでまさに不承不承状態、自身と家族の生活の為だけでつとめていた（二年間の国費留学の代償として倍の最低4年間は国家機関で働く義務があった）。

本心は執筆活動に専念、さらには心血を注ぎたいとの思いが噴火寸前の火山のマグマの様なフラストレーションがたまりにたまっていた。

英語を知り、又二年間イギリスに滞在した経験から「漱石」には当時の日本人にとって英語はさほど重要でない、それこそ海外貿易したり、外交官や海外特派員なら必要であるが、一般国民にとって英語の英の字ほども英語はまったく必要ではないと深く認識していた。大して重要でない英語を学生に教える苦痛にじっと耐えていた。

そんな状況の中、東大英文学教授への就任の内示があった。しかし漱石は全然うれしくないどころか、吾輩は猫の主人公にでも食わせてやりたい心境だった。

ところがその時幸運にも「吾輩は猫である」「坊ちゃん」などで作家として文名が上がっていた漱石のもとに、1907年春に東京朝日新聞主筆の池田三郎が訪ねて来て、小説記者として入社 of 正式な要請があった。条件は年に一度、百回程度の小説を新聞紙上に掲載すること、その上年俸は東大教授の約二倍と高額で東大教授の肩書など「へ」でもない日頃思っていた漱石は家族も多く物いりで、この条件なら安心して思う存分執筆活動が出来ると小躍りしたい気分だった。

その上池田の「先生を英語の教師にしておくのはもったいない、才能の持ちぐさです」とのくどき文句にぼーんと胸をたたいて快諾した。

ちなみに東大英文学の前任教授はあの有名な小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）であった。文部省の経費削減方針から、外国人教師の特別給与が余りに高額な為、半額で漱石に白羽の矢が当たったが漱石は“東大教授なんて「へ」みたいなもんよ”と一蹴してしまった。

1907年5月3日、朝日新聞紙上に漱石の「入社 of 辞」が掲載された。一部抜粋が以下である。

余が新聞屋として成功するかは固より疑問である。かく申す本人すらその点について驚いている。然しながら大学のような栄誉ある位置を抛って新聞屋になったから驚くと言うならばやめて貰いたい。新聞屋が商売なら、大学屋も商売である。商売でなければ教授や博士になりたがる必要はなからう。新聞が商売であるが如く大学も商売である。新聞が下卑た商売であれば大学も下卑た商売である。只個人として営業しているのと、御上で御営業になるのとの差だけである。

以上が権威に一切おもねない、反骨作家「漱石」の面目躍如たる文章である。

当時の新聞社はヤクザの様になわばり意識が強く、関西から進出して来た、いつつぶれてもおかしくない新参者の新聞社に何のためらいもなく飛び込んで行った勇気と反骨精神につくづく感心させられる。漱石は以下の様に叫んだのではないだろうか。「オイラにや東大教授なんて柄じゃねえ、このオツムと右手にペンさえありゃ、いっちょ勝負してやらあなあー」と。すでに執筆（作家）活動で食べていける相当な自信があった。漱石の朝日新聞での第1作目は「虞美人草」であった。その後「夢十夜」「三四郎」「それから」「門」と次々と連載した。

1906年44歳の時、又又ガンコ者「漱石」を証明する出来事があった。文部省から「博士号」を授与するとお達しが出ると、所管の文部省学務局長宛に辞退の旨手紙を出した。以下一部抜粋である。

右博士の称号を小生に授与になる事かと存じます。然るところ小生は今日までただの夏目なにがしとして世を渡って参りましたし、これから先もやはりただの夏目なにがしで暮らしたい希望を持っております。従って私は博士の学位を頂きたいのであります。・・・

上記の通知のあと、局長が直々、漱石の家にやって来て直談判した。しかし漱石は一貫して授与を拒否し、話し合いは物別れに終わった。

その後学位記は送られて来た、その返送の際の手紙に「学位がほしくないと言っている者に、本人の意思に逆らって送って来ても、受け取る義務はない」と又「今の博士制度は功少なく弊害の方が多いと考えている一人であるとはっきり言わせてもらおう」とケンカ腰である。相当な自信である、そして文部官僚は切齒扼腕したのではないだろうか？一般的に言って当時の博士号は非常に数が少なく、しかも文部省よりの授与の為とても権威があって邪魔になるものではない、それで損することもない、むしろ人の尊敬をうけるのに都合が良い、又プライドを保つうえでも役立つ、ところが逆に漱石はそんな俗っぽいものを自慢したり喜んだりする卑小な精神をきらったのだろう。作家は作品がすべてであり、誇るものは自身の作品だけでよいと考えていたのであろう。漱石が「反骨作家」と称されるゆえんである。

最後に「漱石」はイギリスでの二年間の留学生活は人生最悪の日々だったと述懐している。私は以下の様に理解している。漱石は元来うつ病気質があったところへ西洋（イギリス）の文明（文化）と漱石が愛してやまない江戸文明（文化）が衝突し漱石の方がチリチリ・バラバラに砕け散ったというのが実情だろう。

ガンコ者「漱石」らしく西洋文明と一切妥協出来ずロンドンの下宿にとじこもり、もんもんとし、ひたすら英文学書を読みあさった日々だったろう。しかし帰国後、日本文学史上大変な偉業を成しとげた、それは史上初となる言文一致（現代文）で「吾輩は猫である」を書き上げたことである。

さて、このガンコ者「漱石」を精神病理学的手法で分析を試みると、驚く結果となった。漱石には「ガンコ」「こだわりの強さ」「一匹狼」「特殊な能力を有する」「空気が読めない」「記憶力が良い」等の個性的な性格は、実は近年クローズアップされて来て解かった「アスペルガー症候群」と言われる精神病の一種とされている。

実はあの有名な相対性理論の物理学者「アインシュタイン」も同病で、又、架空の人物であるが、次々と難事件を解決した「シャーロック・ホームズ」もアスペルガー症候群である。

我々、日本の第天才「夏目漱石」はアスペルガー症候群をベースにその上うつ病も持っていたことになる（本説を唱えたのは、世界中でひょっとして私が最初かも知れない）。

自然科学でも社会科学でも超偉大な業績を残した人間は凡人とはまったく違うと言うか全然違うと言うか、神に近いのかも知れない。

尚アスペルガー症候群は大きく分類して2種類があります。

- ① I Qの高いアスペルガー症候群
- ② I Qの低いアスペルガー症候群

第19回ロータリー国際囲碁大会のご案内

ロータリー囲碁同好会日本支部より添付の通り案内がありましたのでお知らせいたします。申込み及びお問い合わせは、クラブより直接、ロータリー囲碁同好会日本支部にお願いいたします。

日本で最初のRI公認の親睦団体であるロータリー囲碁同好会（G P F R / Go Playing Fellowship of Rotarians）主催の「第19回ロータリー国際囲碁大会」が4月22日（日）に、東京・市ヶ谷の日本棋院本院の新装となる2階大ホールで開かれます。

「詳細はクラブ事務局まで」

クラブ例会予定

1/18 【理事役員会】

浅見洋氏：西田幾多郎哲学館長

1/25 【素碁子練習会】

団子石祐二氏：ホテル日航金沢ソムリエ

2/1 【素碁子練習会】

大平政樹氏 大平胃腸科外科クリニック
院長

2/8 【理事役員会】

20周年に関する全体会議

2017～18 役員・理事・委員会

(役員) 会長：上杉輝子 エレクト：武藤清秀 副会長：藤間勘菊 副会長：北山吉明 幹事：大路孝之

副幹事：井上正雄 会計：西村邦雄 SAA会場監督：表靖子 直前会長：若狭豊

(理事) クラブ管理運営委員長井口千夏 奉仕プロジェクト委員長井上正雄 会員組織委員長 魏賢任

広報委員長矢来正和 20周年実行委員長宮永満祐美 常任理事：石丸幹夫 吉田昭生

理事会オブザーバー・アドバイザー：パストガバナー 炭谷亮一 地区パスト幹事 岩倉舟伊智

(監査) 後出博敏

(委員会) クラブ管理運営委員長：井口千夏 副：東海林也令子

親睦：◎井上正雄 大沼俊昭 北山吉明 衣川昭浩 木下眞知子 相良光貞 柴田未来 助田忠弘 竹田敬一郎 道端勝太

武藤清秀 村上咏実子 森眞一郎 山崎正美 **例会**：(プログラム/出席) ◎東海林也令子 井口千夏 上田喜之

衣川昭浩 若狭豊 **SAA** ◎表靖子 上田喜之 衣川昭浩 木下眞知子 布施美枝子 村上咏実子

ニコニコ ◎布施美枝子 小浦勇一 村上咏実子 矢来正和 **友好・クラブ細則**・細則 CLP 検討 ◎江守 巧

炭谷亮一 後出博敏

・富山西 RC との交流◎岩倉舟伊智 谷伊津子 藤間勘菊 水野陽子 ・金沢北 RC との交流 ◎藤間勘菊

杵屋喜三以満 金沂秀 ・その他友好クラブ ◎石丸幹夫 魏賢任 藤間勘菊 宮永満祐美 村田祐一

直前委員長：東海林也令子

奉仕プロジェクト委員長：井上正雄 副：衣川昭浩

職業奉仕 ◎村田祐一 永原源八郎 水野陽子 宮永満祐美 **社会奉仕** (新世代・青少年含む) ◎永原源八郎

浦田哲郎 杵屋喜三以満 辰巳クミ 谷伊津子 野村礼子 水野陽子 **国際奉仕** ・世界社会奉仕(R財団)◎炭谷亮一

井上正雄 岩倉舟伊智 金沂秀 柴田未来 西村邦雄 **・書損じはがきキャンペーン**◎江守道子 大沼俊昭 相良光貞

竹田敬一郎 野城勲 後出博敏 山崎正美 **・米山奨学会**◎藤間勘菊 表靖子 土田初子

青少年奉仕 (国際青少年交換 日韓など) ◎井上正雄 江守巧 魏賢任 金沂秀 道端勝太 宮永満祐美 吉田昭生

***直前委員長**:川きみよ

会員組織委員長：魏賢任 副：金沂秀 **会員増強**：◎金沂秀 井口千夏 表靖子 北山吉明

高田重男 道端勝太 **修練** (オリエンテーション) ◎北山吉明 石丸幹夫 魏賢任 西村邦雄 藤間勘菊 宮永満祐美 村田祐一

吉田昭生 若狭豊 **直前委員長** 金沂秀

広報委員会委員長：矢来正和 副：上田喜之

広報:◎上田喜之 助田忠弘 西村邦雄 **ロータリー情報**：◎矢来正和 表靖子 土田初子

会報・ホームページ：◎石丸幹夫 上田喜之 江守道子 野城勲 野村礼子 **直前委員長** 矢来正和

【20周年実行委員会】 会長 上杉輝子 **実行委員長** (理事) 宮永満祐美

顧問(相談役) 炭谷亮一 石丸幹夫 岩倉舟伊智 北山吉明 **会計** 西村邦雄 **委員** 金沂秀 村田祐一

藤間勘菊 魏賢任 井口千夏 東海林也令子 布施美枝子 井上正雄 上田喜之 衣川昭浩

事務局長 大路孝之

長期姉妹クラブ担当 韓国南光州：金 石丸 岩倉 江守巧 東京世田谷中央：炭谷 岩倉 石丸 藤間

京都北東：炭谷 杵屋 水野 高崎：石丸 村田 金 藤間 宮永

(地区委員) ①地区研修リーダー 諮問委員会委員 国際奉仕部門カウンセラー 炭谷 亮一②会員拡大増強委員会委員 魏賢任

③R米山記念奨学会委員会委員 大路孝之

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-11111 例会日時 木曜日 19:00

事務室 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T076-262-2211 F076-262-2241

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp **ホームページ URL** http://100rc.jp/

事務局執務時間 月火水金 9:00～15:00 休憩時間 12:00～13:00 木 15:00～20:00 休日 (土日祝日)

事務局員 西村有里 幹事 大路孝之